

BMC プログラム・海外派遣報告書

化学専攻 放射化学研究室
博士後期過程 1年 小森有希子

参加学会：4th Asia-Pacific Symposium on Radiochemistry Conference (APSORC '09)

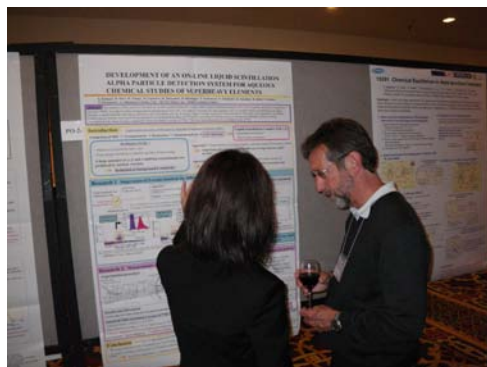
会場：Napa Valley Marriott

派遣期間：2009年11月28日～12月7日

今回私は BMC インテグレートッド大学院理学教育プログラムの海外派遣支援を受け、アメリカ合衆国カリフォルニア州ナパバレーで開催された放射化学・核化学の国際学会 APSORC '09 に参加し、研究発表を行いました。

今回の学会参加は私にとって初めての海外渡航であり、街並みや食事など、見るものすべてに新鮮な感動を覚える毎日でした。12月であったため、街中の至る所に日本ではなかなか見られないような巨大なクリスマスツリーが飾られていました。

学会は5日間開催され、各国の研究者による口頭発表やポスター発表を通じてこの分野についての最新の情報に触れることができました。私は核化学の分野で、放射線検出器の一つである液体シンチレーションカウンターを超重元素の溶液化学実験に適用するための研究についてポスター発表を行いました。超重元素化学で非常に著名な先生が私のポスター発表の場に訪れ、「このアイデアは面白いね」と言ってくださり、非常に嬉しかったです。また、研究分野としては異なりますが、環境放射能測定に液体シンチレーションカウンターを用いている先生も足を運んでくださいました。相手の質問に対し、自分の言いたいことを英語で伝えることは非常に難しく、メモや単語を並べ立てて何とか答えた程度でした。次にこのような機会があるときまでには英語での会話力をもっと身につけたいと思いました。



最後になりましたが、今回の学会参加において経済的援助をいただきました BMC インテグレートッド大学院理学教育プログラムの関係者の皆様、そしてこのような機会を与えてくださいました放射化学研究室の皆様へ深く御礼申し上げます。

